

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 8 年 6 月 20 日



豊中ロータリークラブ

第 3079 例会

第 2673 号

よいことのために
手を取り合おう

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2025~26 年度

国際ロータリー会長

フランチェスコ・アレツォ
(イタリア、ラゲーザ RC)

Rotary

Toyonaka



2025.7~2026.6

会 長 松本 悟
副 会 長 矢口正登
幹 事 藤田充男
雑誌・広報・会報委員長
都井正剛

本日 (6 月 20 日) のプログラム

「創立 67 周年記念日例会」

於：豊中商工会議所



次回 (6 月 30 日) のプログラム

「一年を振り返って」

会 長 松本 悟
副 会 長 矢口正登
幹 事 藤田充男

会長の時間

「創立記念日例会」

2025-26 年度 会長 松本 悟

本日は創立記念日例会です。

当クラブは、1959年(昭和34年)6月16日に発足しました。ホストクラブは、先日合同例会をさせてもらった池田ロータリークラブ(発足1955年)で、発足時の会員数は池田RCからの13名と新メンバー10名の23名だったそうです。

発足した1959年(昭和34年)は、明仁上皇と美智子上皇后がご成婚され、プロ野球では天覧試合が行われた年です。僕の生まれる前のことですが、これらの映像は事あるごとにテレビで流され、何度も目にした記憶があります。おそらく、これ以前の映像はほとんど残っていないことに加えて、戦後10年近くが経ち、ようやく復興も進み、まさに日本の夜明けとも呼べるような時期の華々しい出来事として、くりかえし放映されていたのでしょう。

このような活気に満ちた年に産声を上げた当クラブは、これ以降の世界に比類のない高度経済成長と波長を合わせるがごとく、驚くほどの勢いで会員数も増えて発展していったかと思えます。一時は会員数が80名を越える時期があったと聞いています。

それから半世紀が経過し、日本も先進国の仲間入りをして数十年が経ちました。そして、その先進国の多くの国々の社会・経済は、行くところまで行きついた感を呈しているように感じますが、長い人類の歴史を振り返ると、成熟して安定した時代とも思えます。併せて最近は、さまざまな価値観を尊重する多様化が進んでいる今日、ロータリークラブ会員数が少なくなってゆくのも、僕は頷ける現象だと感じています。

合言葉のように発言される「会員増強」は、当然ながら必要なことかと思えますが、創立六十有余年を経過した伝統ある当クラブとしては、今後の在り方を皆でじっくりと話し合っゆくことが、成熟・安定した運営になるのではないかと愚考しています。

四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より
事 務 局：9 時~15 時(土日祝を除く)

H P アドレス：<https://toyonaka-rc.jp>

メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

☆出席報告☆

	第3078回	第3075回 合同例会
例会日	6月9日	5月20日
① 会員数 A (内出席免除者)	27 6	27 6
② 出席義務者数	21	21
③ 出席義務者出席数	11	8
④ 出席免除者出席数	2	1
⑤ メイクアップ数		4
⑥ 出席義務者欠席数	10	13
出席率 %	56.52%	59.09%

出席率(3078回) ③+④/②+④ 出席率(3075回) ③+④+⑤/②+④

☞幹事報告☞

- ・国際ロータリー第2660地区より
「ガバナー月信7月号」が届きました。
「ハイライトよねやま vol.315」が届きました。
「2026 公共イメージ向上セミナー開催通知」が届きました。
- ・豊中千里 RC より
「豊中千里 RC40 周年記念誌」が届きました。

☞ 掲 示 板 ☞

- ・創立記念日例会 **本日**
日 時：2026年6月20日(土) 17:30 集合 18:00～
場 所：豊中商工会議所 大会議室
- ・卓話“一年を振り返って”
会長・副会長・幹事
日 時：2026年6月30日(火) 例会時
場 所：ホテルアイボリー1F かやの間
※ニコニコクイズがあります
- ・社会を明るくする運動
日 時：2026年7月1日(水) 14:30～
場 所：阪急豊中駅周辺 駅前広場陸橋上集合
- ・新年度運営方針
日 時：2026年7月7日(火) 例会時
場 所：ホテルアイボリー1F かやの間
※会長・幹事・副会長ご準備お願い致します。
- ・米山委員長・カウンセラー研修会
日 時：2026年7月25日(土) 12:30 受付～16:00
場 所：大阪 YMCA 国際文化センター 2階ホール

🌸 創立 67 周年記念日例会 🌸



- 本日のお客様
- ・大阪中之島 RC
2023-24、2024-25 年度会長
戸田佳孝様
2026-27 年度会長
宗森厚樹様
2026-27 年度国際奉仕委員長
植屋亨様
 - ・大西のり子様 (ピアノ)
 - ・名誉会員
木村正治
 - ・名誉会員
北村公一
 - ・米山奨学生
パク・ソニョンさん
 - ・豊中 RC 奨学生
チヨウ・ショウさん



😊 6月9日のニコニコ 😊

- ・誕生日祝いを頂いて 佐川、松尾各会員
- ・家内の誕生日祝いを頂いて 佐川会員
- ・入会記念日祝いを頂いて
矢口、佐川各会員
- ・欠席のお詫び 佐川会員

🎵 豊中 RC の歌 🎵

作詞：田中嘉介 作曲：川澄健一

奉仕の理想にむすばれし
我ら豊中ロータリアン
家族ともどもほがらかに
こころ楽しくむつみ合い
結ぶともがき いやかたく
とわにさかえん とわにさかえん
輝く 豊中ロータリー



唱歌担当 武枝敏之

☞6月9日の卓話☞

「一年を振り返って」

職業奉仕委員長 松山辰男



今年度のための地区研修協議会において、職業奉仕はロータリークラブの理念そのもので、全ての奉仕活動の根幹であり、他の奉仕活動はその上にあることが再確認されました。全てのロータリアンに職業奉仕の理解を深めること、地域にロータリークラブの職業奉仕の精神を広めることが求められました。

職業奉仕委員会として独自の行事としては、単なる職場訪問だけでは意味がないとされて、今年度は、職場見学はいたしませんでした。

出前授業の一環として大阪中之島ロータリークラブと共同で、朝日カルチャーセンターの公開シンポジウムに参加してきましたが、今年度は計画されませんでした。

豊中ロータリークラブの看板事業であった小中学校での出前授業も、ニーズがなくなったのか、今年は実施されませんでした。

「市民公開講座」のようなものも、新規事業として考えましたが、財政的な課題もあり、今年度は何もしておりません。

職業奉仕月間には、会員による職業奉仕の実践を公表いただく「職業奉仕フォーラム」をいたしました。地区職業奉仕委員長会議で申し合わせられた内容を、卓話で紹介し、会員の職業奉仕の心を、再認識していただき、また「それぞれの職業奉仕」として、岩本会員、都井会員に代表してご紹介いただき、フォーラム出席者にもそれぞれの体験をご披露いただきました。

今年度も地区職業奉仕委員会において、武枝敏之会員にご活躍いただき、豊中ロータリークラブの最も重要な職業奉仕活動と認識しております。

豊中ロータリークラブの標語「広めようロータリーの心 地域とともに」は、まさに職業奉仕の心であり、毎回例会の始めに唱和されてきました。

職業奉仕委員会として独自の事業は求められていませんが、各奉仕活動には、職業奉仕の心が込められていると、理解しています。

独自の職業奉仕委員会の活動として復活できるものがあれば次年度に期待しております。

☞6月9日の卓話☞

「一年を振り返って」

国際奉仕委員長 武枝敏之



今年度の報告を行います。タイ国シーロムロータリークラブの提唱で大阪中之島 RC が協賛クラブでの GG ではタイ国の北部にあるスコータイ県にある Srisangworn Sukhothai 病院に ICU 医療機器拡充の為、人工呼吸器、除細動器その他医療備品を寄贈しました。納品後の納品確認・支払い確認(領収書)をして報告書作成し提出を行っております。年度内にタイの現地のクラブとも協力し合い、すべての医療機器の寄贈が終わりました。GG が終了いたしましたら現地の視察がありますが今期には実行できませんでした。

国際奉仕月間では「国際奉仕」について、卓話をさせて頂きました。その大筋は、ロータリーにおける国際奉仕は、国際ロータリー が掲げる五大奉仕の一つであり、世界の人々と協力しながら、理解・親善・平和を築くことが目的であり、国際奉仕は、単なる「支援」ではなく、「相手の立場に立ち、共に考え、共に行動すること。」一方的な援助では長続きせず、本当の意味での課題解決にはつながらない。

クラブにとっては、活動の広がり魅力向上につながり、特に若い世代にとって、国際的な活動は大きな関心事であり、会員増強にも寄与する可能性があること。豊中ロータリークラブの特徴である留学生支援の強化についてお話ししました。

国際奉仕委員会への皆様のご協力に感謝申し上げます。

6月9日の卓話

「一年を振り返って」

社会奉仕委員長 矢野 昭



本年度の社会奉仕委員会の新年度最初の活動は、豊中市との協働事業の“社会を明るくする運動”に参加したことです。“社会を明るくする運動”とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための、法務省が主唱する全国的な運動です。昭和26年に開始されて以来、今年度で第75回を数えます。この活動は豊中駅周辺でこの運動を啓発する広告の入ったティッシュペーパーを配るといったものです。この活動にご参加頂きました皆様に感謝申し上げます。

豊中市環境会議にも出席いたしました。そして毎年“豊中まつり”に協賛しています。

豊中市美術展への“豊中ロータリークラブ賞”の盾を7個寄贈いたしました。これは、豊中市と豊中市美術協会で、美術作品を広く公募し、優れた作品の展示を通じて、芸術作品の創造や鑑賞の機会を創出し、市民の美術振興と芸術向上に寄与するため、毎年開催されています。

本年度の大きな活動といたしましては、青少年奉仕委員会との合同での奉仕活動です。これは、豊中市社会福祉協議会を通じて、子ども食堂への支援としてお米54キロを贈呈しました。お米の贈呈式には武枝会長エレクトと藤田幹事がご出席くださいました。それと同時に豊中市の公立小学校39校への習字セットの贈呈を致しました。贈呈式には、岩本青少年奉仕委員長と藤田幹事がご出席くださいました。ありがとうございました。

社会奉仕月間には、(株)ヘルシーオフィスフー代表取締役の徳田様に“子ども食堂のこれから”と題し卓話をしていただきました。(株)ヘルシーオフィスフーは、豊中市で料理に特化したサービスを提供し、高齢者や子供など地域の方々に集まっただけの場となることを目指されています。子ども食堂は子どもたちが孤食にならない場所を作る。特に朝型の子供食堂を開き、子供たちの成長と健康管理につなげていくという活動内容の卓話をしていただきました。徳田様ありがとうございました。

この一年間、社会奉仕活動への皆様のご協力に感謝申し上げます。

6月9日の卓話

「一年を振り返って」

青少年奉仕委員長 岩本洋子



2025～2026年度の青少年奉仕委員会の活動として、社会奉仕委員会の矢野昭委員長と協力をして以下の通りの奉仕活動が出来ました。

豊中市の全公立小学校へ	習字セット（呉竹）	39 セット	146,850 円
子供食堂への支援	お米（パールライス）	5 kg 10 袋 4,082 円／袋	40,820 円
	お米（秋田こまち）	2 kg 2 袋 2,354 円／袋	47,08 円
		計	192,378 円

子供食堂へのお米の支援は、ここ数年ずっと続けていることです。何かもう一つ別のプログラムをと考えて、豊中市社会福祉協議会にアイデアの提供をお願いしました。豊中市の小学校で外国人の子供さんがおられて、習字とか書道とかいうことが分かりにくくて、習字セットを持っていないお子さんがおられるので、全小学校39校に1セットずつ寄付をお願いしたいと言われて、実行しました。私たちロータリアンが持っていない情報も、社会福祉協議会やボランティア団体 Quest のような人たちが持っています。

5月の青少年奉仕月間の卓話は、Quest の加藤夏海さんをお願いしました。

「見えない子供たち～ネグレクトを受ける子供たち～」という卓話をしていただきました。豊中市で活動している奉仕団体やボランティア団体と協力して、色々な情報を得て、奉仕活動を決めるのが、有効な方法だと思いました。